

忠生地区 地区別懇談会 意見まとめ

開催日時：11月20日（日）14時～16時

参加者数：会場：51名、オンライン：3名 グループ数：会場：11グループ（A～K）、オンライン：1グループ

分類方法：ラウンド1で出た意見を、ワードや内容から分類・整理し、多い順に並べています。ラウンド2・3の意見は、ラウンド1の分類を元に紐づく意見や近しい意見を整理しています。

下記の票は、分類と意見をラウンド順に左から右へ、確認できる形にしています。

※ 表中の意見末尾の（ ）はグループ名を表しています。

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (108件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(102件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(99件)
交流・つながり づくり (16件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナで触れ合う機会が減ってしまった。(C) ・ 外出、散歩、グランドゴルフ⇒人との交流(閉じこもりにならない)(D) ・ 交流一場づくり⇒出かけたくなる(D) ・ 地域のサークル活動⇒交流の場へ(D) ・ 学校以外のところでみんなと会えるとワクワクできる。(E) ・ 一人暮らしの方とつながること。(G) ・ 昔の人(仕事を一緒にしていた仲間とか)と会う約束する。その日を待ちわびる気持ちはワクワクする。(G) ・ 人と人の距離感が近いまち⇒町田市に移って人と人の距離感違う⇒ここを縮める(I) ・ 疎遠になってきた人と人との間を縮める。コミュニティカフェ。(I) ・ 伝統行事は、在の人と新住民、世代をつなげるかも。(I) ・ 忠生地域は障がい者施設が多い。地域と一緒にできるイベントがあると楽しい。(J) ・ 人のつながりが増える。(K) ・ 子どもの親どうしのつながり。趣味のつながり。(K) ・ 新しい人と会って話すのは緊張もするがワクワクする。(オンライン) ・ 男性は仕事などのため地域に暮らしてこなかったので入りづらい。独居の男性が一番心配。声をかけても「けっこうです」と言われてしまう。ポッチャに参加しているのも大半が女性。(オンライン) ・ 今みたいな場、こういう場がワクワクする。知らない人、知っている人と話をする場。話をする中で、相手の良いところ・共通点が見つかるとうれしい。それによって関係性が近くなる。(オンライン) 	交流・ つながりづくり (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの習い事などから地域と関わられた。子どもが親と地域とをつなげてくれた。⇒いまは少子化、コロナ影響でも減少(A) ・ 施設ごとの棲み分けの境をなくす。例)子どもたちが高齢者の施設へ遊びに行く。(C) ・ 日大三中・高は地域との付き合いが薄い⇒普段からのやり取りが必要。(駅からスクールバス)私学と地域の交流(D) ・ 桜美林中・高はタウンマップをつくった。(D) ・ 学校側からオファーする。(D) ・ 新しい住民と地元の人とのつながりが課題。(E) ・ 参加したくてもきっかけが分からない。子ども会はゼロ歳からの参加へ。(E) ・ 子どもの親同士がつながっていないので、きっかけにしたい。(オンライン) ・ 40代、50代の男性に参加してもらおう。(オンライン) 	交流・ つながりづくり (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ体操などがきっかけとなって、自然に人が集まる。イベントなどが開けたら良い。イベント企画者の負担など。(A) ・ ラジオ体操は自然と近所の人たちの集まりになる。(A) ・ ラジオ体操の交流コミュニティ、20人～30人くらいの人たち、自然と仲間になれる。(A) ・ バラバラであるがみんなで飯を食べる。(C) ・ 何か物があればつながれる。(C) ・ 参加した時に知り合いがいないかもという気持ちがあるのでは。(E) ・ 町田 JFC クラブチームと学校のチームとの関係。(E) ・ 意図しないところでの出会いがある。(E) ・ 私立の学校と市立の学校をつなげる。(G) ・ 皆で知恵を出し合って、地域の輪を広げる。(H) ・ 障がい者施設は年に1～2回地域の祭りに参加。(J)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (108件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(102件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(99件)
お祭り・イベント (15件)	<ul style="list-style-type: none"> ・意外と町田について知らない。詳しい人に案内してもらいたい。犬のお散歩にオススメの場所ツアーなど。(A) ・お祭り。商店街も。音楽。食べること。(B) ・盆踊り。(B) ・地域の行事の詳細を分かりやすく。(C) ・飲んだり食べたりイベントがあると集まる。コミュニティで顔見知りが増えること。(C) ・町内やほかでみんなと楽しく活動すること。芋ほりとゲーム(参加者70人くらい)。(E) ・小山田緑地で収穫祭(子どもが植えたものを収穫して餅つきする)。(F) ・団地まつり(旧友との再会の機会)、子どもセンター(まあち)でのイベントや成人式の企画、学校・自宅以外のサードプレイス。(F) ・テンションの上がるイベント。知らない人と出会う。(G) ・イベントでまち(地域)以外の人が集まると盛り上がる。(G) ・大学の学園祭とか作ることから始めること、参加すること。⇒達成感が味わえる。その達成感が次回につながる。(G) ・イベント(花火)、ライブに行くこと。この地区の自然の良さを生かす。(G) ・週末にイベント(ミニ行事)。日常と違ったイベント。(H) ・お祭り、イベント、街中にあるとワクワクする。(H) ・町内会活動の活性化。子どもが喜ぶ祭り、イベントを実施。フリースペースがあること(シバヒロみたいな)。(J) 	お祭り・イベント (14件)	<ul style="list-style-type: none"> ・神輿。高校生にも声掛け。(B) ・祭りのときのたまり場。(B) ・お祭りなど開催したいがまだまだ難しい。(C) ・リサイクル広場で焼き芋などで交流。交流の場で資源などについて知ること。(C) ・地域のイベント、お祭り。(D) ・農業の体験(芋ほり、種取り)⇒やってみたいという声がかかる。(D) ・コロナでイベントできず。今年開催し、100人くらい参加。イベントの企画に工夫が必要。(E) ・安全・安心のまちづくりのため人と人のつながりが重要である。それを生み出す機会(イベントや場所)をつくる必要がある。(F) ・自治会の餅つき大会、コロナ禍前までは子ども会とも一緒にイベントを企画してた。コロナが落ち着いたら企画していきたい。(H) ・安全面を考えて小さなイベントを考える。(H) ・祭りをやる、スポーツ(グランドゴルフ)をやる。どんど焼き。一般市民から信長公募して時代祭をやる。(J) ・盆踊りも飲食ないとつまらない。(J) ・焼いもプロジェクトをいろいろなエリアの方と一緒にやる。小山田南小学校のエリアでやりたい。(オンライン) ・焼いもプロジェクトが結成できてうれしい。(オンライン) 	お祭り・イベント (14件)	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み食い以外でもできることを探す。(C) ・高齢者と子どもと一緒にできることを考える(焼き芋大会)。(G) ・老人会と子ども会の合同(婦人会も)でやるイベント(竹とんぼとか)。(G) ・ラジオ体操をやる(その時にお菓子を持ち寄るとか)。(G) ・多世代で意見を出し合っ、誰でも参加できる場を。(G) ・公園と会館を使っのイベント。広い場所の有効活用。(H) ・屋外でできるイベント。ウォーキング。(H) ・イベントが定着することで、新しいイベントが生まれる。継続していくことが大事。(H) ・体験農業(高齢の方が教える)。(H) ・忠生小学校の近隣の町内会が連携して、何か1つの行事(野外キャンプ、盆踊り)を仕掛ける⇒みんな連帯感を持つ(I) ・eスポーツ、オセロ大会⇒町内会の固定観念の枠を外す(I) ・コロナ禍でもできるイベントをやる。(J) ・交流の場や町内会イベントを開催。(K) ・支援センターでつながりのきっかけのイベント。(K)
活動・活動の担い手 (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りなどでだれでもお神輿とかも担げたら良い。(A) ・コロナの影響で施設内にこもる時間が増えたが、今の環境の中でもできることの素材がたくさんあることが分かって、どっしりと構えられるようになった。(C) ・ふれあいサロンの活動。(F) ・老人クラブの活動、人とのコミュニケーション、グランドゴルフ、イベントやお祭り(時代祭り)。(F) ・ワクワクする人をつくる。(G) ・ボランティア(受付)を募集したら多くの方から手が上がった⇒地域のつながり(H) ・地元で農業⇒周りから連携の声がかかる。(I) ・民生委員活動⇒在の人たちと新住民の間を縮める。(I) ・若い人の自治会加入率は低い⇒ぜひ入って欲しい。自治会の中で若い人が集まると良い。(J) ・自治会に入るのは「メリット」ではない。(J) ・町内会の参加。(K) ・地域の活動にもっと男性が参加するとよい。今はほとんど女性。(オンライン) 	活動・活動の担い手 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元でできることを遠くへ出かけて行っ。(D) ・団体の中でできることを外へ。(D) ・地域の人とのマッチング。忠生の強みとして学生さんのチカラを。(E) ・自分が当事者として意識的に関わる。(E) ・小山田桜台地区には地域づくりの様々な活動があり、他の地域に比べて活発と感じる。(F) ・図師は防災の活動はわりと活発だが、そのほかの活動はそれ程でもない。(F) ・「あなたができることしますよ！」の仲間を増やしたい。(G) ・支援センターが活躍していくこと。(G) ・イベントの運営に参加。(K) ・地域交流スペースの当番。(K) ・保護者に中心になってもらいたい。地域はバックアップ。(オンライン) 	活動・活動の担い手 (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から積極的にできない。受け身になってしまうから、誰かがやる。(A) ・地域のリーダーが必要。アドバイザー、コーディネーター⇒地域のリーダーのなり手がいない。外部のプロフェッショナルな人材が必要(D) ・地域の人材。Mbelの関連で人のつながりができた。(D) ・次世代のリーダー⇒場づくり仕掛ける、情報の発信(D) ・幼稚園も自治会参加。(D) ・高校生、大学生が地域に関わるにはどうしたら良いか分からない。誘えば協力する人はたくさんいる。(F) ・高校生、大学生に防災訓練等に関わってもらってはどうか。(F) ・訪問すると誰かと話すことが嬉しいという人が多い。そのひとの家へ行く！ということも良い。60代が80代話を聞く(出られない人に対して)。(J) ・桜美林大学の学生に参加してもらっ。地域の中でボランティアをお願いできる窓口があると良い。(J) ・町内会で人が抜けないようにするには。(K)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (108件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(102件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(99件)
子ども・若者 (11件)	(全般:2件) ・子どもの声が聞こえる。(B) ・子どもが元気に活動している姿。お祭り。子どもが行事に参加する。(H)	子ども・若者 (22件)	(全般:4件) ・子どものやりたいこと！友達がやっているからやる。親の協力が必須になってしまう。(A) ・若者がまちにいと活気がある。(G) ・若者が増えることが望ましい。(G) ・大人もスマホに夢中になっている。子どもたちに目を向けるように考え方を考える必要がある。(H)	子ども・若者 (3件)	(全般:0件)
	(遊び場・居場所:5件) ・自然の中で冒険遊び。(B) ・子どもたちが外で思い切り遊べる場(ボール遊び)。大人の見守りが必要。(D) ・安心して遊べる場所。(D) ・子どもの遊び場⇒いつでも自由に遊べる所(H) ・遊ぶところがあれば、子どもたちは友だちどうして楽しく遊ぶことができる。(H)		(居場所・遊び場:2件) ・町田にはたくさん子どもたちの居場所がある。子どもたち(高校生)に居場所あることを知らせていく。大学生になると急に地域とのつながりがなくなる。(H) ・自由に誰でも遊べる場所づくり。子どもの意見を聞く場、言える場をつくる。(H)		(居場所・遊び場:2件) ・高校生までの子どもの居場所(子どもセンター、こども食堂、冒険遊び場など)が町田市は充実している。(F) ・大学生になると居場所が急になくなり、寂しい。芹ヶ谷公園でのイベントに桜美林大の学生が関わっている。大学生をもっと活用すると良い。(F)
	(交流・つながり:3件) ・子どもたちのイベント、発表会など、普段ふれ合わない世代との交流。ゲームなども子どもが教える。(A) ・子どもたちと地域の人たちとの交流⇒学びの機会(D) ・子どもの遊び場に学生を連れて行ったが、楽しかった。冒険遊び場が交流の場になっている。(オンライン)		(交流・つながり:8件) ・子どもたちのイベント(凧あげ、盆踊り、お神輿など伝統)⇒町内会に若い世代を。他世代との交流(A) ・学童の子どもたちと高齢者支援センターとのつながり。(D) ・花の家と児童との交流⇒私学の子は地域の意識が薄い(D) ・子ども会だけでなく町内会の方とゲームする⇒世代間の交流、自然とつながり(E) ・幼稚園が地域と交流する。地域の人に教えてもらう。(J) ・学童保育も地域と交流できると良い。(J) ・地域で行われるイベントに幼稚園、学童保育が参加する。お客様でなく。(J) ・学童保育は短時間なので地域とのつながりが薄い。(J)		(交流・つながり:1件) ・子どもを基軸につなぎ、コミュニティを育てる。(I)
	(イベント:1件) ・学校の行事への参加。子どもたちとの触れ合い。(E)		(イベント:8件) ・子どもの集まりをきっかけにする。(B) ・中高生が参加しやすい工夫があると良い。(B) ・グラウンドで盆踊りしたらたくさん人が集まりそう。(B) ・子どもたちを招待して一緒にものづくりをする。(C) ・子どもたちの好きなことを教えてもらう。(C) ・幼稚園と地域と一緒にイベントができると良い。(J) ・子どもが来やすいイベントを行う。(J) ・収穫、自然、餅つきを子どもに体験してもらう。(K)		(イベント:0件)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (108件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(102件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(99件)
あいさつ・ 声かけ (7件)	<ul style="list-style-type: none"> 声かけができること。(B) すれ違ったときにあいさつや会話を交わせる。(C) 地域のひとと言葉を交わすことが安心につながる。(C) 人とのつながり、あいさつ。(K) 話しかけてくれること。以前、セネガルに青年海外協力隊で行ったことがある。互いにしゃべり合う、声をかけ合うという習慣があり、一人ではないと感じた。「アフリカのつきあい」がよい。(オンライン) 知らない人とも話し合う機会がある。言いたい意見が言える。お互いに遠慮しないであいさつしたり、話しかけられる(子どもや知らない人に)、それに慣れる、それが自然になること。(オンライン) 八王子では子どもたちからあいさつしてくれる習慣がある。町田でもできないか。(オンライン) 	あいさつ・ 声かけ (2件)	<ul style="list-style-type: none"> コロナで園のイベントなどがなくなる⇒何が出来る？ あいさつ、地域で見守られる(A) 知らない人にあいさつしたり、話しかけたりする。(オンライン) 	あいさつ・ 声かけ (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 自由な時間に声掛け。(K)
拠点・居場所 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> 駄菓子屋、食事(おいしいものを通じて)スペースでの交流。(A) 話したりできる場所が大事。(C) いつも開かれた会館。居場所づくり。誰でも利用できる。(H) 会館の利用、高校生の利用(卓球を通して)。サロン、本の寄贈。ピアノの寄付の声もある。ギャラリーコーナーもある。展示コーナーがある。(H) 移動サロン。(H) つながりをつくる場が近くにある。(K) 	拠点・居場所 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> 小学校廃校⇒フードコート作ったら？(A) 新しくつくった会館を誰もが立ち寄れる場所に。(C) 地域が広すぎると会館などは建てられない。(C) 町内会館が埋まってしまってイベントで使えない。(C) 安全、安心な遊び場としての学童。(D) 場所をつくるにはお金がかかる。場所を提供する取り組みを市にもっとして欲しい。(F) 美味しいものも食べられる、買い物とか。交流する場、フラッと寄れるような場所があると楽しみにする。(G) フリースペースでスポーツできると良い。(J) 常盤公園使える。町内会によってはスペース持ってる。(J) 休日に一般の方にスペースの貸し出し。雨でも利用できる。(K) 子ども食堂「さくらさくら」で話す地域のおジサンが集まってくる。(オンライン) 	拠点・居場所 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の駐車場を貸し出してラジオ体操。場所の提供など投げかけする。(A) 寄り道できる場所があれば良い。(B) 隣近所に声掛けして少人数でもできる場所があると良い。→忠生市民センターの近くに兜塚公園がある(B) フリースペース(シバヒロのような)が欲しい。⇒忠生スポーツ公園の開園(D) 忠生スポーツ公園の運営⇒使いやすい広場に！(D) 忠生スポーツ公園の運営⇒子どもたちが参加できる場、機会へ(D) フリースペース(新ごみ処理施設にできる予定のようなもの)が必要。(F) 雨の日に行けるフリースペースが少ない。桜台の「さくらさくら」が作っている「ほっとスペース」が使える。(F) コロナ以前の生活に戻れたら良い。そうして交流できる。場の提供。場づくり。(G) リサイクルのひろばから始まったものが、次々と活動が広がり、世代を越えた交流できる場所になった。(H) 学校の有効活用。スマホアプリで安否確認できる(災害時)。(H) 場所がない。場所の確保。(J) 自治会によっては場所をもっている。会員は使える。(J)
多世代交流 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者と若者が同じ土俵で一緒に楽しめる何かができることと良い。(A) 子どもだけでなく大人(お年寄り)と一緒にやる。ラジオ体操、輪投げなど。世代を超えていきいき⇒ワクワク。子どもだけでなく地域とのつながり。(A) 地域(自治会)の中で多世代が集まる場がある(納涼祭、餅つきなど)。同じ趣味の場で交流する。町トレ。(J) 多世代の交流がなかなかできない。防災訓練では出会うこともある。(オンライン) 若いお母さんに声をかけたら、引かれた。若い人との交流が重要。(オンライン) マスクで人との交流が少なくなっているため、多世代交流の場があること。(オンライン) 	多世代交流 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流。(A) ラジオ体操。子ども、高齢者など一緒に。(B) 若い世代と高齢者が一緒になってできることを増やす。例)eスポーツなど。(C) 若い人たちが交わるのが大切⇒どうすれば良いか(I) ほとんどつながりがない40代から50代の人と高齢者の交流が大事。既存の組織ではなく、新しい人たちのつながりをつくる。(オンライン) 	多世代交流 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操やれば、いろいろな世代との交流になる⇒いつやるか。みんなの知っていること(A) リアルタイムでおじいちゃんたちと体操できたら。子どもにポテチなどご褒美あげたら。自然とやりたい人が集まる。(A) ラジオ体操、夏休みに限らずできたら良い。→土曜日の朝とかは？学校の宿題の一部にするなど義務化できるといいか？(A) 子どもたちから教えてもらうこともある。スマホの使い方とか。逆に竹とんぼの作り方を教えるとか。そして、つながりができる。(G) 農地は世代間交流、フリースクール、保育園児の場。今後10年先の活力の源⇒自分より下の年代(20歳代)と組む⇒時間とエネルギーを投下している(I) 世代交代、交流。(K) 50代の年代が高齢者と若い世代をつなげる。(K)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (108件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(102件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(99件)
自然 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> 自然との共生、動物との共生。自然も交流に使えたら良い。散歩する楽しみになる。自然の案内など。(A) 街路樹のところに花を植える。写真に撮ると綺麗。ワクワクする道になる。歩いている人が褒めて通る。(A) お花が好き、季節ごとのお花にワクワクする。(G) もみじ台の紅葉。桜風景。(K) 	自然 (0件)		自然 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 農業など自然と触れ合える。(A)
まちのイメージ (4件)	<ul style="list-style-type: none"> 安心して住める。(C) 安心、安全なまちが前提。(D) 根岸、新しい街並み。高齢者のまち→若者のまちへ変わった。(H) 町田は子育てするのに良いと聞いて住んだ。子どもが楽しんでいる姿。子どもたちの声。(H) 	まちのイメージ (0件)		まちのイメージ (0件)	
まちの機能 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> オープンでタダで運動できる場所が近くにある。(A) 出かける場所(飲食)、手段がある。団地内自動運転実験が行われている。(J) 気軽に出かける手段、家から出る手段(団地には階段が)。(J) 坂が多いと高齢者は大変。移動手段が課題。(J) 	まちの機能 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 安全で安全に住める街。統廃合した後の学校の活用の仕方。(H) 	まちの機能 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> 歩いて行ける範囲に医者がいないのが不便。バス停遠い。タクシーもうまく来ないときがある。交通の便を良くして欲しい。安心して暮らすために交通の不便さを知って欲しい。(C) 医療。(C) 小山田桜台、街灯が少ないところがあり、夜不安。防犯パトロールが行われている。(F) キャンプ場をつくって欲しい。(G)
活動のしくみ (3件)	<ul style="list-style-type: none"> 市の仕事(ボランティア)の後に補助金が出て、飲み会ができる。と良い。(G) 「誰もが」(ユニバーサル)を多くの人たちに共有できる。(I) 「住みたい」と「組みたい」は違うを知って行動する。(I) 	活動のしくみ (8件)	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催はできるが、参加できない人に対して考える。話し相手になる。(G) 施設の送迎者の有効利用はとても良い。(G) 「コロナと一緒に」を前提にできることを見つける。(I) 同じ世代、異なる世代が集まる方法。(I) 地域の行事=集まる、つながる⇒コロナ禍で難しい(I) 街づくり協議会に相談。(K) できることから、少しずつでもはじめることが重要。(やきいもプロジェクト)他の自治会にも声をかける。(オンライン) 少ない人数でも、とりあえず始めてみる(やきいもプロジェクト)。(オンライン) 	活動のしくみ (11件)	<ul style="list-style-type: none"> 縦割りを崩す。ラジオ体操。(C) キッチンカー。(C) キッチンカーの貸し出しがあれば、屋外イベントやりやすい。(C) 出かけたけれど、出かけられない。足が不自由。何ができる？→ボランティアでは限界。介護サービスで対応(D) 景品をよくする(活動に対して支援を依頼する)。(E) 補助金(地域貢献のご褒美として)。(G) 参加できない人に対して考えるのは大事。(G) キーワードはネットワーク。(G) 地区と地区が連携して要望を実現していく。市民共同。(H) ボランティアの窓口を連合会が担えるか？(J) 町内会は大変のイメージ。大変でないことをアピール。役割を細かくする。(K)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (108件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(102件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(99件)
情報発信・共有 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> お勧めの場所をまとめたツール。(K) クチコミで(スポーツ)参加者を増やす。(K) 母からラインをすすめられてやってみた。女性のほうが新しいことをやりやすいのか。男性は教えても覚えられないし、わからないことを聞いてこないなので、そこをなんとかしたい。(オンライン) 	情報発信・共有 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> 交流する中でお互い役割を持っていると良い。コロナ禍での交流、オンラインなどで例えばお互いに子どもからスマホ教える、お年寄りの方から子どもに教える。(A) イベントの情報の知り方を分かりやすく。(C) クチコミで広がっていく。行政が入らないほうが良い。(D) 地域の横のつながりの中で紹介し合うことが良い。(D) 回覧で広く知らせる。知らない人どうして集まれるようにイベント企画を。(E) 	情報発信・共有 (15件)	<ul style="list-style-type: none"> クチコミなどで広がる⇒交流が広がる。自分から情報を取得する(A) できない中でできることを。新しいことを知る機会が欲しい。(C) 地域の情報をどうやって知らせるか。(D) 地区協議会をもっと知って欲しい。(D) 手紙、メール、LINE・・・高齢者も使えるようになりたい。(D) 回覧板への苦情もある。(D) 発信方法、SNSの利用(メールよりはHP活用)。高校生と一緒に(例:高校説明会を一堂に会してを模索中)。(E) 保護者のクチコミが一番。中学校単独でメンバーが揃わなくなった⇒小中合同チーム(E) イベントするときに SNS のつながりで情報を伝えるようにしたらどうか。インスタはストーリーを利用する。知らない間でも見ることにはつながる。(E) SNSは顔が入っていいのか(コンプライアンス)、課題。(E) 「まちカフェ」で実現する。このチラシを配る、知らせることはできる。(G) 地域の活用できるコト(竹村さんの農地)を軸に、忠生の強みを知る。(I) 使える場所の情報が判ると良い。徒歩圏内に場所がないといけない。(J) 人と話したいけれど家を出られない人の情報があって、その人とボランティアをつなげる。(J) 地区どうして情報を広める。(K)
健康づくり (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操(コーヒー、菓子など持ち寄る)。(B) 町トレを毎週やっている。(J) 毎週、顔を合わせてポッチャをやっている。(オンライン) 	健康づくり (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操、屋外なのでやりやすい。小規模単位。身体不自由な人もできるやり方。(I) ラジオ体操、お茶の会の当番。(K) ポッチャもやってみたい。(オンライン) ポッチャなど、みんなのできるものをやる。(オンライン) 	健康づくり (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操。(B) 指導者がいれば太極拳。(B) 筋トレ(まちトレ、たくさんの人が参加している。みんなとできて良い)。(B) 子ども会などがあると良い。ラジオ体操など参加のスタンプやシールなどもインセンティブ。声掛けする人がいると良い⇒動き始め(B)
見守り・支え合い・助け合い (3件)	<ul style="list-style-type: none"> 多世代の交流(子ども、高齢者)⇒地域で見守り(D) 登下校の見守り⇒あいさつ⇒子どもたちから元気をもらう(D) 隣近所で助け合える。(H) 	見守り・支え合い・助け合い (3件)	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生時、ゴミ置き場に集合し、安否確認している。(F) ゴミ出しの手伝い。(G) 子どもの交通安全の旗振り。自治会自主的。(K) 	見守り・支え合い・助け合い (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 朝、通学時の子どもの見守りがPTAだけでは大変で、地域の協力が必要である。(F)
その他の活動 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> 外にでかけること(子どもの知り合いが増えた)。(E) 家にいないで外へ出かけよう。協力世帯が減ってきている。(E) キャンプとか散策する。(G) 室内でウォーキング。(K) サッカー。(K) グランドゴルフ大会。300人。(K) 違うコースでウォーキング景色。(K) 	その他の活動 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> 別の地区懇談会で小学生が参加していた。街を綺麗にすればみんな集まると言っていた。(G) 体操、本など。(K) 	その他の活動 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> 花を植える⇒低コストでできる⇒グループをつくって自分の家の前に植えるでも良い(A) お花を植える時、子どもと一緒にやると良い。水やりなども継続で。大勢でできると良い。(A) 自分の植えたものが綺麗に咲いたら嬉しい。(A) 傾聴ボランティアの活性化。(J)
その他 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ワクワクする＝楽しいこと(おいしいものが食べられる)(G) 欲しいものが手に入ること(高速のパソコンとか)。(G) コロナで我慢が多かった。(G) 新しいこと、いろいろなことにチャレンジ(老けない、ほけない)。(オンライン) 	その他 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> 免許返納など高齢者増えた。(A) 地元の野菜を食べる。野菜をつくる技術。(D) 農家から外へ働きかけることはない。(D) 心が元気になること⇒生き生きすること(E) コロナ禍での生活の中、どうしたらよいか。食べものは楽しめる。(G) 	その他 (0件)	

＜市ホームページ・メール等から頂いたご意見＞

地区別懇談会への参加が難しい方に、町田市ホームページやメール等で「① ワクワクするまち」、「② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること」、「③ あったらしいと思う地域の活動」をたずねて、ご意見をいただきました。

忠生地区では、6名からご意見をいただきました。ご意見の内容は、以下の通りです。

① ワクワクするまち

- 定期的に近所で催しがあるのがいい。
- 1.市民の希望、要望を即断即決して実行してくれる行政であること。2.特定の団体の横暴には厳しい姿勢を取りあくまでも公平な行政の町で有ること。3.犯罪、違反を起こさせない防犯カメラの充実した町。
- 住んでいる人がイキイキしている町。
- お互いに信頼して、安心して過ごせること。
- 普通に1日1日が過ぎていくことで、ワクワクする気持ちのゆとりが生まれると感じています。住む人たちに気持ちのゆとりがある町は、ワクワクと少し違うのかもしれませんが、魅力を感じます。
- 自分さえ良ければ良いという考え方の人が全面に出ない街。結局マネーやビジネスの話にしかならない。

② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること

- 少しの情報発信くらいしかできないかもしれません。
- 1.町内の公平性の実現。2.行政への要望。3.子ども達の故郷としての思い出づくり。
- 催しに参加したり、地域との交流をしていく。
- 困っている人がいたら、手を差しのべる。
- 一人一人の存在を認めてもらい、認めてあげれる環境づくり。
- 障がいのある方、そこに関わる方々が、楽しく日々を過ごせるような、グループホームを運営します。
- 誠実に生活する。

③ あったらしいと思う地域の活動

- シバヒロとか金井広場での催しみたいなことかな。
- 1.ワクワクするまちの姿は地区によって見え方が違うと思います。大きな地区の単位でなく、町内会単位で行政は考え方、要望を聞き取って欲しい。
- お祭りやバザーなど
- テーマのあるコミュニティの場所。
- 整備された図書館、新中間層だけに特化していないさまざまな人が集まれる場所。